

学校名 大阪府寝屋川市立友呂岐中学校  
 学年 三年四組  
 氏名 山田 衣織

題名 隠れた存在の税金

私は今までの人生の中においこ沢山医療に  
 お世話になりました。思ひ返してみると、小  
 さい頃に発熱や頭を損傷したときなどは病院  
 へと駆け込んだことと今でも寛えています。  
 その時はまた医療費に711で自分が払うこと  
 かなりの不気にしたことかありませんでした。  
 もしも現在、五年生の時に患った麻疹が  
 慢性化したとしても、薬生活が始まりました。  
 その為月一回程皮膚科へ行き治療を受けるの

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

ですから、117行、ことと五百円払うだけで済む  
 ことに疑問を抱きました。後から母に聞いたら  
 みると乳幼児医療助成制度があるためだと答  
 えました。また妹が幼い頃、川崎病という血  
 管に炎症が起さる病気になるとし、また、連日  
 入院してしました。しかしこれらまた、乳幼  
 児医療助成制度によ、ご多額の医療費が少し  
 で済んだのです。  
 先程から、これら乳幼児医療助成制度と  
 は、乳幼児が医療機関を受診した医療費のうち

中学生の「税に関する作文」原簿用紙

作品番号	1	2	3	4	合計
337	1671				

5、金額自分で負担するのではなく、保険や  
 国からの税金で補ってくれるという事です。  
 また、学校などで皆さんが受けた健康診断は  
 この福祉関係と税金で賄われていきます。私た  
 ちの健康のために税金が使われていきますと考  
 えると感謝しなければなりません。思いました。  
 そして、私たちが大人になると普通の医療費  
 を払わなければいけなくなるのです。医療費  
 にも税金が負担されていくため自己負担が少  
 し衆に及びます。

全国納税貯蓄組合連合会：国税庁

しかし近年、少子高齢化が急速してきてい  
 ることは皆さんご存じだと思います。この少  
 子高齢化が今、問題視されていくのです。高  
 齢者が増えること、必然的に医療や年金、介護  
 に必要なお金が増えることに必ずあります。その  
 お金、つまり税金を払う若者が減少してきて  
 いるため問題視されていくのです。そうなる  
 と、若者一人当たりの税金の負担が大々くな  
 ってしまうます。そのために、これからこの社  
 会と  
 作りに上げていく私たちがこの税の仕組みを

中学生の「税についての作文」原稿用紙

